

【会長挨拶】

‘The Two Voices’: 会長の中に同居する二つの声をAとBとしてご挨拶申し上げます。

「会長挨拶A」: 2022年が始まりました。今年もどうかよろしく願い申し上げます。と言っても、まずは残念なお知らせから始めなくてはなりません。2020年度第92回大会(本来の開催校は琉球大学)、2021年度第93回大会(本来の開催校は早稲田大学)の2回の全国大会がオンライン大会になったことに続き、2022年度第94回大会(本来の開催校は同志社大学)までもがオンライン大会になってしまいました。コロナ禍の現状を考えると、やむをえない決定ではあるのですが、多くの会員の皆様と同様に私も残念な思いでいっぱいです。昨年第93回大会の折に『週刊読書人』は「特集: 英米文学／研究書のススメ」の紙面を作って下さり、そこに私の「読書と研究の仮想空間」という記事が載りましたが、その最後を私は「来年2022年5月に同志社大学で開催される第94回全国大会では、是非生身の姿で現れたいものだ」と結んでいました。この望みも叶わないことになりました。「ひょっとして私は在任期間中一度も会員の前に姿を見せることはないかもしれない」と悲観的な予測をしてしまいます。

「会長挨拶B」: 第94回大会もオンライン大会になることになりましたが、学会のオンライン化に伴い、日本英文学会のデジタル化が革新的に飛躍するという、思ってもみない成果がもたらされました。多くの時間とお金を投入して出張する手間もなく、Zoomを始め、様々なデジタルツールにより、加速度的な効率化が図られたのは、コロナ禍という惨状が図らずももたらした副産物と言えるでしょう。日本英文学会で発表することが大きな業績となる大学院生も、自腹を切ることなく自宅に在りながら発表の機会が得られるということになり、若手育成の点でメリットが大きいと思われます。これまではな

かった外国人研究者の日本英文学会での発表も、Zoomにより可能になるかもしれません。〈ポスト〉もしくは〈ウィズ〉コロナ時代になっても、獲得したオンラインの知識は積極的に活用すべきでしょう。もちろん事務局の負担は十分に考慮する必要があります。

正直、「会長挨拶A」的メンタリティに後ろ髪を引かれながらも、「会長挨拶B」的な未来志向型の変革された日本英文学会の形を目指すことは、外発的にも内発的にもあるべき姿であるように思われます。学会でも諸連絡の電子化など検討しているところです。会員の皆様からも積極的意見をお寄せいただき、未来の日本英文学会再構築に向けて共に進んで行きたいと望んでおります。どうかよろしく願い申し上げます。なお、この問題は、第94回大会の特別シンポジウム「〈ポスト〉〈ウィズ〉コロナ時代の英語英米文学研究——デジタル・ヒューマニティーズに向けて——」で議論することになっております。Zoomにおいて活発な意見交換ができるよう願っております。

(服部典之)

【理事会報告】

◎第94回全国大会

第94回全国大会は、2022年5月21日(土)、22日(日)の両日、Zoomを用いたリアルタイムでのオンライン開催となりました。多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

◎全国大会参加方法

今回の大会では、事前登録制はとらないことにいたしました。学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)の大会特設ページに発表・シンポジウム各室のZoomのURLを掲載いたしますので、そこからご入室ください。入室に必要な情報につきましては、5月に入ってから会員の皆様にお伝えいたします。

当日会員の参加方法につきましては、あらためてウェブサイトにてご案内いたします。

◎全国大会の特別シンポジウムについて

第94回大会の第2日目には、理事会の主催による特別シンポジウムが以下のように開催されます。喫緊の問題について深い見識を有する学会内外の研究者が発表し、意見を交わします。是非ご期待ください。

タイトル：「〈ポスト〉〈ウィズ〉コロナ時代の
英語英米文学研究
——デジタル・ヒューマニティー
ズに向けて——」

司会・講師：服部典之(大阪大学名誉教授・
関西外国語大学教授)

講師：原田範行(慶應義塾大学教授)

野崎 敏(東京大学名誉教授・放送大学
教授)

中村雄祐(東京大学教授)

◎全国大会タイムスケジュールの変更

従来、大会プログラムは、大会1日目の午後、2日目の午前を中心に編成されていましたが、両日ともに全日にわたり発表、シンポジウムが行われることになりました。移動の必要がないというオンライン大会の特性を活かし、会員の皆様に多くのセッションに参加していただきたいというのが変更の主旨です。同分野の発表、シンポジウムはなるべく時間帯が重ならないようにプログラムを作成しました。詳細なタイムスケジュールは、本冊子にてご確認ください。昼休みの時間が少なくなるなどのご不便をおかけしますが、ご了承いただけますようお願い申し上げます。

◎第94回全国大会開催形態決定の経緯

2021年12月7日に、学会ウェブサイトにおいて、第94回大会をオンライン開催とすることを告知いたしました。その決定にいたるまでの経緯を報告いたします。

大会準備の都合上、開催形態の年内決定が必要であることから、11月7日、服部典之会長・代表理事が、第94回全国大会開催に関する諮問委員会を設置し、開催形態についての案を審

議し、理事会に対して答申を提出するように求めました。諮問委員会の構成員は下記の通りです。

阿部公彦(座長・副会長)、圓月勝博(開催校委員長)、竹村はるみ(開催支部長)、山田雄三(開催支部副支部長)、金山亮太(大会準備委員長)、田中裕介(事務局長)

11月14日から18日にかけてメールで行われた諮問委員会の審議の結果、新型コロナウイルス感染症の今後の状況が不透明であることなどから、「第94回大会については開催校なしのオンライン大会とする」という主旨の答申が決議されました。

11月21日から26日にかけてメールで行われた臨時理事会で、上記答申を骨子とする開催形態案が承認されました。

◎オンライン大会本部の設置

オンラインでの大会実施にあたっては、理事会、評議員会、事務局、大会準備委員会の緊密な連携、協力が必須であるため、「オンライン大会本部」を設置し、大会運営の実務の中核を担うことになりました。構成員は下記の通りです。

服部典之(本部長・会長)、竹村はるみ(本部長補佐・評議員会議長)、田中裕介(本部長代行・事務局長)、阿部公彦(副本部長・副会長)、金山亮太(副本部長・大会準備委員長)、中村仁紀(副本部長・事務局長補佐)、永嶋友(本部書記)

Zoomの各部屋の管理などは、本部委員を兼ねることになった大会準備委員に担っていただくことになりました。委員の皆様には、この場を借りてお礼を申し上げます。

◎終身会員制度について

日本英文学会では2013年度より終身会員制度を始めております。「終身会員規程」は学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)「入会案内」欄より閲覧できますのでご覧ください。お問い合わせ、ならびにお申し込みは本部事務局(ejimu2@elsj.org)にて受け付けております。

◎事務局開室時間

本部事務局事務室の開室時間は、以下のよう
になっております。

月曜日～木曜日 11:00～16:00

上記以外の曜日・時間帯(特に土日、祝日や
夏季休暇・冬季休暇)にいただいたお問い合わせ
への返信は少しお時間をいただくことになり
ますが、ご了承ください。

◎海外研究者招聘後援事業

英文学会では、2011年6月1日より、日本に
おける英文学研究の国際化促進のために、海外
研究者招聘後援事業を実施しております。該当
する企画をお持ちの団体による応募を歓迎いた
します。応募する団体は、申請書類を電子メー
ル添付にて本部事務局宛にお送りください。な
お、同事業の応募規程、採択された事業の概要
ならびに企画申請書は、学会ウェブサイト
(<http://www.elsj.org>)「リンク(他学会、助成
金、各種募集)」欄より閲覧できます。

◎会員著書案内

英文学会では、本部事務局あてに会員から著
書を献本いただいた場合、学会ウェブサイト
に著書紹介を出版から2年のあいだ掲載するこ
とができるようになっております。掲載対象と
なる著書は、英語圏文学・英語学・英語教育に
関する会員独自の研究成果に限り、訳書や上記
分野以外の著作等は対象外とさせていただきます。
なお、著書案内に掲載された著書について
は、『英文学研究』編集委員会において書評対
象の候補として検討させていただきます。ご希望
の方は、次の情報を本部事務局(ejimu@elsj.org)
までメールでお寄せください。

1. 著書のタイトル、出版社、出版年
2. 著書の内容の梗概1,200字程度
3. 目次

著書を出版された方は、どうぞふるってこの
著書案内コーナーをご利用くださるようお願い
いたします。会員の皆様におかれましては、学
会ウェブサイト「会員著書案内」欄をぜひご覧
ください。

【2022年度シェイクスピア祭のお知らせ】

2022年度シェイクスピア祭を、日本英文学
会／日本シェイクスピア協会・共催にて下記の
通り開催します。今年度は明治大学駿河台校舎
での対面方式での実施を予定しております。キ
ャンパス内会場についての詳しい説明は、追っ
て日本シェイクスピア協会ウェブサイト
(<https://www.s-sj.org/>)にてご連絡いたしま
す。また、やむなくオンライン開催に変更する
場合にも、同サイト等にてご連絡いたします。

開催日時：4月23日(土) 13時～16時30分
(予定)

開催場所：明治大学駿河台校舎(詳しい教室
等は追ってご連絡します)

一般公開(事前予約不要、入場無料)

プログラム(予定)：

13:00 開会の辞 末廣幹・日本シェイクス
ピア協会会長(専修大学教授)

13:10 講演 篠崎実氏(千葉大学教授)「テ
クストが語る創作の軌跡～シェイク
スピア複数テクスト劇の読解～」

14:30 質疑応答

14:50 休憩

15:00 トーク 谷賢一氏(Dull-Colored Pop
主宰、劇作家・演出家・翻訳家)
「シェイクスピア、演劇教育、そして
劇場」

16:20 閉会の辞 服部典之・日本英文学会
会長(大阪大学名誉教授・関西外国語
大学教授)

【大会準備委員会からのお知らせ】

◎第94回全国大会について

新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、第
94回大会は第93回大会と同様、Zoomを使用し
たリアルタイムでのオンライン開催となりました。
全国大会の開催に関する最新情報は、日本
英文学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)
に掲載されますので、定期的にご確認くださ
い。

◎研究発表応募について

第94回大会の研究発表に応募された方々は、英文学18名、アメリカ文学5名、英語学8名、英語教育1名の総勢32名でした。前年度の24名(英文学14名、アメリカ文学5名、英語学4名、英語教育1名)から約30%も多くの方からご応募いただき、御礼申し上げます。

今回は初めてGoogleフォームを用いて発表募集を行いました。その際に生じたいくつかの改善点につきましては、次年度は応募者のご負担がより少なくなるように検討いたします。

大会準備委員会では、発表タイトルおよび発表要旨を含め、応募原稿に基づいて審査・銓衡を行っております。大会準備委員会より依頼・要請した場合を除き、応募後のタイトルの変更はご遠慮いただいております。また、タイトルは発表時の使用言語に合わせてご作成をいただき、やむを得ない理由でそれが不可能な場合はタイトル末尾に「(発表演語：～語)」を付記ください。発表応募の際には、これらの点をどうぞご理解いただきますよう、お願いいたします。

◎ハンドアウトのウェブサイト掲載

学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)に、シンポジウムや研究発表の発表者からお送りいただいたハンドアウトを掲載いたします。発表者・登壇者の方でご協力いただける方はハンドアウトのファイルを大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。大会前に掲載を希望される場合は、2022年5月10日(火)までにご送付をお願いします。充実した大会にするために、大会発表者の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◎特別研究発表候補の募集

大会準備委員会では特別研究発表の候補者に関するご提案を、以下の要領で公募しております。ご提案がある場合は、大会前年の8月31日までに大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)まで、以下の所定の書類をお送りください。

〈特別研究発表の(募集)要領〉

- (1) 発表時間は1時間
- (2) 資格は、海外の大学等で専任の職を持

っていること

- (3) 謝礼は2万円(税込み)。その他、国内に限った交通費(要領収書)
- (4) 司会は原則として紹介者が行う
〈応募の必要書類〉
- (1) 候補者の略歴、主要業績リスト
- (2) 発表題目および発表要旨

採否の決定は、大会準備委員会で9月末日までに行い、決定次第ご提案者にご連絡差しあげます。

◎第95回大会(2023)ワークショップの応募開始

2023年に開催する第95回大会ワークショップの応募を開始しております。ワークショップはシンポジウムに準ずるもので、開催時間は当面、大会2日目午後の特別講演／シンポジウムの時間帯(2時間程度)を予定しています。企画数の上限は当面3本程度とし、企画案は分野バランス等を考慮して大会準備委員会で選考いたします。

第95回大会分の応募締切は、2022年4月末日です。応募をご希望の方は、学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)に掲載されている応募要領をよくお読みのうえ、同ウェブサイトよりダウンロード可能な応募フォームその他の書類をそろえて、大会準備担当書記(etaikai@elsj.org)までお送りください。

会員の皆様から新鮮な企画をご提案いただくことで、全国大会をより身近で興味深いものにできれば幸いです。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

【編集委員会からのお知らせ】

◎投稿状況

『英文学研究』は、和文号(12月刊行)、英文号(3月刊行)の年各1冊という刊行形態となっており、和文号、英文号それぞれに投稿の締切が設定されております。昨年9月1日の英文号の締切までには、22本の英文論文が寄せられ、うち3本が採用されました。本年4月1日投稿締切の和文号にも、多数の投稿があることを願っています。

◎優秀論文賞について

この賞は『英文学研究』（和文号、英文号）に掲載された論文の中から、特に優れた論文に授与されるものです。昨年9月1日締切の英文号では、残念ながら「該当論文なし」となりました。

◎第45回新人賞論文募集

4月30日締切で、第45回新人賞論文を募集しています。新人賞論文には賞金10万円、佳作論文には賞金5万円が授与されます。斬新なアイデアをお持ちの若手研究者の方々にはふるってご応募いただければ幸いです。野心的な論考を期待しております。応募される方は、上記学会ホームページ、あるいは『英文学研究』第98巻(和文号)掲載の応募要領をご確認ください。

◎委員の交代

3月末日をもって小川公代、金津和美、小池剛史、秦邦生、住吉誠、高尾直知、戸谷陽子、富澤直人、長岡真吾の各氏が任期満了によりご退任となります。長い間ありがとうございました。

任期満了でご退任される委員の後任には、市川誠(東京理科大学)、大串尚代(慶應義塾大学)、岡本太助(大阪大学)、後藤美映(福岡教育大学)、佐藤元樹(福島大学)、霜島慶邦(大阪大学)、武田将明(東京大学)、富樫剛(フェリス学院大学)、前川貴史(龍谷大学)、山口和彦(上智大学)の10氏が選ばれました。任期は4月1日からの3年です。どうぞよろしく願います。

◎海外特別顧問の増員について

2004年度に創設された海外特別顧問制度の構成員の死去にともなう人数の減少により、2022年度から分野ごとに若干名の増員を行うことになりました。新たに就任される顧問は以下の通りです。

[イギリス文学] Margaret Mills Harper (Limerick)、Douglas Mao (Johns Hopkins)、Sally Shuttleworth (Oxford)

[アメリカ文学] Thadious M. Davis (Pennsylvania)、Wai Chee Dimock (Yale)、Gordon Hutner (Illinois Urbana-Champaign)

[英語学] 宮川繁(Miyagawa, Shigeru) (MIT)、Jeremy Smith (Glasgow)

【本部事務局からのお願い・ご報告】

◎会費納入と刊行物発送について

日本英文学会の2022年度会費は、例年通り、一般会員8,000円(本部会費7,000円+支部会費1,000円、ただし複数支部に加入の場合は1支部ごとに1,000円追加)、学生会員5,000円(本部会費4,000円+支部会費は一般会員に同じ)、協賛会員10,000円です。退会届が出されない限り、会費の納入が滞っても、2年間は引き続き刊行物をお送りいたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

会費の納入状況が不確かな場合には、メールなどで事務局(ejimu2@elsj.org)までお問い合わせください。重複して会費を支払われますと、払い戻しなどに余分な手数料がかかってしまいますのでご注意ください。

会費の納入忘れを避けるためにも、「郵便局自動払込みによる会費引き落とし」のご利用を強くお勧めしております。郵便局(ゆうちょ銀行)に口座をお持ちでしたら、事務局からお送りする書類に記入して、ご返送いただくだけで簡単に利用できます。領収書も、ご請求があれば学会より発行いたします。ご利用をご希望の方は、メールなどで事務局(ejimu2@elsj.org)までご連絡ください。

なお、会費の振込手数料は、会員の皆様にご負担いただいております。

◎入会・退会の手続きについて

入会・退会の手続きにつきましては、学会ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)の「入会案内」欄にて詳しくお知らせしておりますので、そちらをご参照ください。以下、注意点を記しておきます。

《入会手続きについて》

入会手続きにつきましては、お申し込み内容に応じて、事務局より、郵便振替用紙もしくは郵便局自動払込利用申込書のいずれかが、ご指

定いただいた住所に送付されます。郵便振替用紙をお送りした場合は、会費をお振り込みいただいた時点で入会とし、また、郵便局自動払込利用申込書をお送りした場合には、これを事務局あてにご返送いただいた到着日をもって入会として扱います。研究発表への応募や論文の投稿などの資格も、これに準じて発生することになります。

《退会手続きについて》

会員は、退会するときは、退会届を提出しなければなりません。また、2年間にわたって会費を滞納した場合は、会員の資格を失うことになります。つまり、退会届を提出しなければ、会費を納めなくても2年間は会員扱いになり、当学会の学術誌や刊行物の送付を継続いたします。資格を失ったのちも、未納分の会費については支払い義務があり、その分をお支払いいただかない限り再入会できませんので、ご注意ください。

退会のご意思をお持ちの場合には、速やかに、ウェブサイト(<http://www.elsj.org>)上の「お問い合わせ」欄やメールで事務局(ejimu2@elsj.org)までご連絡いただき、どの年度をもって退会とするかをご指示ください。なお、本部のみ、支部のみを退会することはできません。

◎学生会員の皆様へ

学生会員の皆様には事務局から以下の2点をお願いしております。

- 1) 毎年度4月末日までに学生証の写しを送付すること
- 2) ゆうちょ銀行自動払込みの申し込みをすること

すでに学生会員となっており、引き続き2022年度も学生会員の身分を継続希望の方は、4月末日までに、2022年度有効の学生証の写しを、メール添付PDFファイルにて、本部事務局(ejimu2@elsj.org)宛にお送りください。確認のうえ、2022年5月中旬に学生会員としての年会費を引き落とします(ゆうちょ銀行口座残高をご確認ください)。なお、上記2つの条件を満たさない場合、一般会員に身分変更するな

どの措置をとらせていただくこととなりますので、ご注意ください。

また、身分に変更が生じた場合や、留学等で長期間海外に出られる場合などは、事務局(ejimu2@elsj.org)までその旨ご一報ください。

◎各種変更に関するお願い

氏名、住所、電話番号、メールアドレス、所属、身分、所属支部などに変更が生じた場合には、お手数ですが、事務局(ejimu2@elsj.org)まで速やかにご連絡ください。とりわけ、氏名と住所の変更は、会費の引き落としや刊行物の配送に支障をきたしますので、お早めにお知らせください。

◎夏季休暇中の事務連絡について

本部事務局は、7月26日より8月31日まで基本的に夏季休暇とさせていただきます。この間の学会へのご連絡は、回答までに日数がかかることもあります。あらかじめご了承ください。

◎次回のニューズレターについて

今回のニューズレターは、2022年9月中旬刊行予定です。なお、それまでの間に公開すべき情報は、随時学会ウェブサイトにて告知いたします。

◎次期事務局構成

2022年度本部事務局は下記のメンバーで構成いたします。ただし、全国大会終了後の5月末までは現事務局が「主」、新事務局が「副」として業務にあたります。6月1日以降は、全面的に新事務局に移行します。なお従来は「ウェブ担当」を設置しておりましたが、事務局業務全般のオンライン化、デジタル化推進も新たに職務に含めるため、代わりに2022年度より「オンライン補佐」を設置することにいたしました。

事務局長	中村仁紀 (大阪医科薬科大学) 異動
事務局長補佐	田村斉敏(東京工業大学)
会計補佐	佐美真理 (東京藝術大学) 留任
オンライン補佐	永嶋 友(慶應義塾大学)
編集担当書記	馬淵恵里(関西外国語大学)

大会準備書記　奥畑　豊(日本女子大学)

新事務局は服部会長のもと、英文学会が会員の皆様の優れた研究・教育の成果を発表することのできる場であり続けるため努めてまいります。今後とも、会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。なお、現事務局にこれまで賜りました多大なるご支援に、この場をお借りして篤く御礼申し上げます。

日本英文学会事務局

田中裕介・中村仁紀・佗美真理・

市川千恵子・小宮真樹子・小林広直